※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)書道演習２	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	「書道Ⅰ」（東京書籍）・「書道Ⅱ」（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育みましょう。
・漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に親しむ活動を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深めます。
・様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に個性的に自己を表現する能力を高めます。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

芸術科書道を初めて学ぶ生徒にも取り組みやすいように、基本的な用筆・運筆の特性から学習し、鑑賞や表現の創造的活動を通して、書や書の伝統と文化に幅広く関わる資質や能力を育成することを目指す。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解する。書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、表現を工夫する。作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉える。
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育む。感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書の良さや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	【漢字の書】楷書「孔子廟堂碑」**「自書告身」** 行書「苕渓詩巻」	・書体と書風について学習する ・臨書と創作の違いを理解する ・古典の用筆方法を学習し特徴を理解する ・古典の背景を知る	a:各古典の線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、書の伝統と文化、書の美と時代、風土、筆者などとの関わりについて理解を深め、用筆方法身につけ表している。 b: 各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c: 漢字の書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	鑑賞 作品 ワークシート 自己添削	作品 自己添削	観察 作品 振り返りシート
	【漢字仮名交じりの書】うちわ制作	・うちわに合う言葉選びと表現の学習 ・うちわの骨からうちわを制作する ・批評会をする	a:目的や用途、作品の意図を明確にするための効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身につけている。 b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c: 言葉の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、漢字仮名交じりの書の創造的な表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	鑑賞 作品 ワークシート 自己添削	作品 自己添削	観察 作品 振り返りシート
二学期	【漢字の書】 コンクール出品作品の練習・制作	・半紙作品の制作 ・自分に合う古典、および創作題材を選んで制作する	a:自分の技能に適したものを選択し、古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身につけている。 b:選択した古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し、工夫している。 c:コンクール入賞をめざして意欲的に取り組み、自らの作品を鑑賞し、よりよくなるよういかすことができる。	鑑賞 作品 自己添削	作品 自己添削	観察 作品 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	【篆刻・刻字】木彫	・漢字一字または表札の刻字作品の制作をする ・彫り方、彩色、仕上がり、立体的な美の学習	a:刻字を構成するさまざまな要素、書体・書風や配字等による表現効果を理解している。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、立体として引き立つ字形や用筆等を考え個性的な表現を工夫している。 b:刻字作品の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 c: 漢字の書の創作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に至るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。	鑑賞 作品 自己添削	作品 自己添削	観察 作品 振り返りシート
	【仮名の書】大字仮名創作	・大字仮名の用筆・運筆の学習 ・半切二分の一に大字仮名を制作する ・連綿の学習、練習 ・集字の仕方、創作に生かす ・表装の学習	a: 大字仮名の筆使いや墨の扱い方を身につけ、効果的な表現の技能、墨継ぎや散らし書き等による全体の構成の技能を身につけている。 b: 大字仮名の用筆法や墨色、多用な連綿を使った全体の構成について理解し、表現を工夫している。 c: 仮名の美しさについて関心を持ち、積極的に仮名の書の創造的な表現技法や鑑賞能力を高めようとしている。	鑑賞 ワークシート 作品 自己添削	作品 自己添削	観察 作品 振り返りシート
	１年の振り返り	全作品を見直して自己評価	a: 自らの学習したことを振り返り、言葉にできる能力が身についている。 b: 振り返りを通して、書を愛好する心情を育てられるよう、工夫している。 c: 1 年間の学習について主体的に振り返り、書のよさや美しさを再確認している。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度